

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU-R部会 衛星業務委員会(第5回) 議事概要

- 1 開催日時  
平成22年2月18日(木) 午後2時～4時45分
- 2 場所  
総務省11階 共用1101会議室
- 3 出席者
  - (1) 専門委員 (主査を除き五十音順、敬称略)  
加藤 寧(主査)、阿部 宗男、加保 貴奈、河合 宣行、鈴木 龍太郎、高橋 和子、堂前 光洋、徳永 恭子、三谷 政明
  - (2) 関係者及び説明者 (五十音順、敬称略)  
今井 一夫(B-SAT)、河野 宇博(スカパーJSAT)、小坂 克彦(NICT)、小林 聖(NTT)、斎藤 知弘(NHK)、繁田 勉(JAXA)、田中 祥次(NHK)、土田 健一(NHK)、寺田 弘慈(JAXA)、藤澤 直正(NTTドコモ)、三國 嘉之(国土交通省)、三留 隆宏(日立製作所)、山下 史洋(NTT)
  - (3) 事務局  
成瀬課長補佐、丸橋係長、西官(以上、衛星移動通信課)  
住友推進官、佐藤係長、齋藤官(以上、宇宙通信政策課)
- 4 議事
  - (1) 衛星業務委員会(第4回)の議事概要(案)について
  - (2) ITU-R SG4関連会合の報告書(案)について
  - (3) ITU-R SG4関連会合への日本寄与文書(案)について
  - (4) ITU-R SG4関連会合への外国寄与文書審議表(案)について
  - (5) ITU-R SG4関連会合への対処方針(案)について
  - (6) その他
- 5 議事概要
  - (1) 衛星業務委員会(第4回)の議事概要について  
資料衛5-1に基づき、衛星業務委員会(第4回)会合の議事要旨について、事務局から説明が行われ、特段の意見がある場合は、平成22年2月25日までに事務局あて連絡を行うこととなった。
  - (2) ITU-R SG4 関連会合の報告書(案)について  
資料衛5-2に基づきWP4A及びWP4B(第4回)会合の結果について、河合専門委員(KDDI)から、WP4C(第4回)会合及びSG4(第3回)会合の結果について事務局から報告が行われ、エディトリアルな修正のあと承認された。
  - (3) ITU-R SG4関連会合への日本寄与文書(案)について  
主査より、各寄与文書案は各WGで承認された文書である旨説明が行われた後、各寄与文書(案)について下記のとおり審議が行われた。

【資料衛5-3-A-1～2】

今井氏（B-SAT）から勧告BO.1776改訂案（資料衛5-3-A-1）及び勧告BO.1659改訂案（資料衛5-3-A-2）について説明があり、特段の質疑無く承認された。

【資料衛5-3-A-3～4】

斉藤氏（NHK）から、レポートBO.2071改訂案に向けた作業文書（資料衛5-3-A-3）及び第一地域及び第三地域における21.4-22.GHzBSSのための参照受信地球局アンテナパターン（資料衛5-3-A-4）について説明があり、特段の質疑無く承認された。

【資料衛5-3-A-5】

土田氏（NHK）から、WRC-12議題1.13CPMテキストの進展に向けた作業文書（資料衛5-3-A-5）について説明があり、特段の質疑無く承認された。

【資料衛5-3-A-6～7】

繁田氏（JAXA）から、22.55-23.55GHz帯におけるデータ中継衛星システムとの共用を考慮したHIBLEOシステム保護要求の影響（資料衛5-3-A-6）及び議題1.11における非静止衛星システムとSRSシステム間の共用検討に必要なパラメータの要求（資料衛5-3-A-7）について説明があり、以下の質疑応答の後承認された。

阿部氏：5-3-A-6について” otherwise the existing data relay satellite systems～”とあるが、前段までの文章でその旨は理解できるので、この一文は不要ではないか。

繁田氏：了。セミコロンのみは削除する。

河合氏：今回の検討はインバンドのみだが、アウトバンドで検討した場合でも問題ないという理解でよろしいか。

繁田氏：イリジウム側の共用検討でもアウトバンドは問題ないとされている。

【資料衛5-3-C-1～3】

三留氏（日立製作所）から、WRC-12議題の5000-5030MHz帯に関するWP5Bへの連絡文書の提案（資料衛5-3-C-1）、ITU-R暫定新報告草案M.[RNSS\_Pulse\_Params]の修正（資料衛5-3-C-2）及び1215-1300MHz帯におけるEESS(active)システムからのパルス干渉に関するWP7Cへのリエゾン提案（資料衛5-3-C-3）の3件について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

（資料衛5-3-C-1）

小坂氏：本寄与文書はWP5Bに対するはっきりとした提案になっているので、WP5Bに提出した方がよいのではないかと。WP4Cから出すのであればコメントとして出すのが通常のリエゾンである。

三留氏：前回のWP5B会合ではWP4Cからコメントとして出しているが、取り入れなかった。今回このような形で出すことについて、WP5Bは了承している。

【資料衛5-3-C-4】

三國氏（国土交通省）から、航空移動衛星（R）業務が必要とする周波数の優先使用の規定（WRC-12議題1.7関連）についてCPM文書の要素の修正（資料衛5-3-C-4）に関する説明が行われた後、以下の質疑応答がなされた。

この後、事務局から本議題の今後の検討の進め方について補足説明が行われ、議題を解決するメソッドについて引き続き関係者間で調整を行うこととし、そこで得られた統一見解についてはメール審議を通して本委員会でも合意を図ることとされた。また、現在、国交省から議題の解決策案として「メソッドB」が提案されているが、関係事業

者から異議が出ているものの対案が示されておらず、まだ解決策案の合意が得られていない状況を踏まえ、今後の検討の中で関係事業者から本議題の解決に相応しいと考えるメソッドの提案がなければ、国交省側の提案である「メソッドB」を採用することとする旨の説明が事務局からなされ、承認された。

(資料衛5-3-C-4)

小坂氏：要旨(2)で需要予測をRA-12までに完成するとあるが、実際にこの期限までに間に合うのか。

三國氏：CPMテキストの後に、WP4Cが再度開催されると聞いている。

阿部委員：11年度中にWP4C会合ができればRA-12に間に合う。

小坂氏：需要予測は、CPMテキストのサポートに必要ではないのか。

阿部委員：基本的に2×10MHz以内に収まるということであるから、必須とはいえない。

三國氏：CPMテキストの完成までには必須ではない。その他方策を考えるとときに必要となるので、WRC-12までには用意したいところ。

【資料衛5-3-C-5】

藤澤氏（NTTドコモ）から、ITU-R暫定新報告草案M.[MSS-SHARING]に向けた作業文書及びWRC-12議題1.25のCPMテキスト案の修正提案（資料衛5-3-C-5）について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(資料衛5-3-C-4)

小坂氏：WP5AやWP5Dにはアクセスを取っているのか。

藤澤氏：取っていない。

小坂氏：今回のWP4C会合の結果状況を踏まえた上で、WP5AやWP5Dからアクションを取ったほうがよい。また、補足として、移動業務と移動衛星業務は同一周波数帯で共用できないことは、ある程度常識となっている。

【資料衛5-3-C-6】

山下氏（NTT）から、WP4C議長報告第6附属書に含まれるITU-R暫定新報告草案ITU-R M.[DUALPOL]の修正提案（資料衛5-3-C-6）について説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

(4) ITU-R SG4関連会合への外国寄与文書審議表（案）について

SG4関連会合への外国寄与文書審議表について事務局から説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

(5) ITU-R SG4関連会合への対処方針について

SG4関連会合への対処方針について事務局から説明が行われ、エディトリアルな指摘の後、特段の質疑なく承認された。

(6) その他

【参考資料2～5】

事務局から参考資料に基づき説明が行われ、エディトリアルな指摘がなされた。また、今後公表される外国寄与文書の対処については、各WGでの対処方針を基に対処していくが、特に審議が必要と思われるものについては、衛星業務委員会においてもメール審議をお願いする旨の連絡があった。

以上

配付資料

資料 衛5-1	衛星業務委員会（第4回）の議事概要（案）
資料 衛5-2	ITU-R SG4 関連会合の報告書（案）
資料 衛5-3	ITU-R SG4 関連会合への日本寄与文書（案）
資料 衛5-4	ITU-R SG4 関連会合への外国寄与文書審議表（案）
資料 衛5-5	ITU-R SG4 関連会合への対処方針（案）
参考資料1	衛星業務委員会の関連WGの審議報告
参考資料2	ITU-R SG4関連会合の開催案内
参考資料3	ITU-R SG4関連会合の日本代表団一覧（予定）
参考資料4	ITU-R SG4関連会合の開催日程
参考資料5	衛星業務委員会専門委員名簿（平成22年2月現在）